

南島原市ニュース

令和4年3月1日

タイトル **ながさき南部生産組合が日本農業賞特別賞受賞**

農事組合法人ながさき南部生産組合（北有馬町）が第51回日本農業賞（主催：日本放送協会（NHK）、都道府県農業協同組合中央会（JA全中））の「食の架け橋の部」で特別賞を受賞しました。つきましては、関係者が受賞報告のため市長を訪問します。

記

1. 日時 3月4日（金）午後1時30分～2時
2. 会場 市役所西有家庁舎2階応接室
3. 参加 ・ながさき南部生産組合 近藤一海会長理事、中村大介代表理事ほか
・市長、副市長、農林水産部職員（敬称略）
4. 内容 (1)市から経緯などの説明 (2)受賞者あいさつ (3)市長あいさつ
(4)閉会 (5)写真撮影

※取材の際は、マスクの着用、手指の消毒、三密防止などにご協力をお願いします。



担当部署	農林水産部 農林課農業戦略班	担当者	荒木 智
直通	0957-73-6661	E mail	nougyouenryaku@city.minamishimabara.lg.jp
詳しくは <small>ひす</small>		検索ワード	
担当者 連絡先			

賞の概要、受賞に至った経緯、ポイントなど

1 賞の概要

(1)名称 第51回日本農業賞

(2)趣旨

日本農業の確立をめざして、意欲的に経営や技術の改善に取り組み、地域社会の発展にも貢献している個別経営と集団組織や、食や農の担い手として先進的な取り組みをしている個人・集団組織を表彰するもの。

(3)主催 日本放送協会（NHK）、都道府県農業協同組合中央会（JA全中）

(4)後援 農林水産省、都道府県

(5)参加区分と参加対象

参加区分	参加対象
個別経営の部	経営・技術にすぐれ、地域社会の支持と共感を得ている個別経営。
集団組織の部	意欲的で創造力があり他を啓発するにふさわしい集団組織。
食の架け橋の部	農業者又は農業者が主体的に関わっている団体等。その取り組みが農業者と都市生活者・消費者との新しい連携や、地域や人々の暮らしのあり様を示すもの。

(6)食の架け橋の部の審査基準

- ・農業者と消費者が食と農に対する理解を含め、それを守り育てようという、積極的な活動であること。
- ・取り組みの基盤として安定的な農業生産や6次産業化など、多様な経営がおこなわれており、発展性・将来性を備えていること。
- ・その活動が豊かな地域社会やゆとりある暮らしを作り出すために寄与していること。

2 受賞に至った経緯

年月	適用	備考
令和3年9月	食の架け橋の部へ応募	応募件数32件
令和3年10月	第1次審査	書類審査
令和3年12月	第2次審査	最終審査（現地審査）
令和4年1月	受賞者決定	
令和4年2月	授賞式	オンライン

受賞者一覧

個別経営の部	
大賞	深作農園（茨城県）、岡元農場（石川県）、吉野ジープファーム（岐阜県）
特別賞	奥田園芸（奈良県）
集団組織の部	
大賞	JA伊豆の国苺委員会（静岡県）、JA京都にのくに万願寺甘とう部会協議会（京都）、JA晴れの国岡山船穂町ブドウ部会（岡山県）
特別賞	あまイチゴ部会（愛知県）
食の架け橋の部	
大賞	パストラル（熊本県）
特別賞	ながさき南部生産組合（長崎県）

3 評価のポイント

ながさき南部生産組合に所属する約140人がそれぞれに所有する田畑で土づくりや有機栽培、栽培期間中の農業不使用栽培などにこだわった独自の農法により、玉ねぎやトマト、バレイショなどを生産。年間を通じた直売や通信販売、生協社消費者グループとの連携、加工販売などの先進的な取り組みが高く評価された。